

研修主題 「PSHE 学習を通して多文化共生社会を生き抜く児童生徒の育成」

～国際理解と ICT に関する交流活動を通して～

1 主題設定の理由

(1) 児童生徒の実態

① 国際理解という視点から

本校は海外の現地校や日本人学校に在籍した経験をもつ児童生徒が多く、昨年の中学部3年生における英語検定準1級以上の取得率が50%となるなど、英語学習への関心が高いことが特徴である。しかし、英語で話せているように見えても文法が正しくなかったり、ネイティブの英語講師との会話になると、急に緊張感が増してしまったりする実態がある。また、イギリスで生活しながらも、イギリスの文化や思想に対する知識や理解が乏しいこともあげられる。そのため、正しい英語表現で自分の考えを伝えられるコミュニケーション能力を育むとともに、イギリスと日本のそれぞれの文化や思想についての知識や理解を深めさせることで、多様性を認め合う国際社会で学び続ける児童生徒を育てる。

② ICTという視点から

2021年から小4以上の児童生徒にiPadを支給及び様々な場面での指導実践をして3年が経過した。教員は日々の授業の中で意図的にICT機器を取り入れた授業を多く展開するようになり、児童生徒は、基本的な使い方にも慣れて、意見交換やプレゼンテーション等をすばやくかつ容易にできるようになった。児童生徒アンケート「私は、パソコンやタブレットを学習で使えるようになったと感じる。」項目において、肯定的評価も一昨年の88.5%から昨年度97.7%となり、9.2%の改善が見られた。このことから児童生徒にとってiPadは、鉛筆や消しゴムのように日常的に使う文房具と同じくらい身近なものになっていると思われる。しかし、情報モラルという観点では、時間を忘れてiPadを使用したり、学習以外のことに使用したりする場面も見られる。また、不注意によりiPadを破損させてしまう事案が昨年2件発生している。そのため、今後も授業や生活の中でどのようにICTを活用していくかについて、ルール作りを含めて模索し続け、日々進化していくネット社会で学び続ける児童生徒を育てる。

(2) 昨年の取組より

① 国際理解という視点から

昨年は、英会話の授業参観（英国について学ぼう WEEK）を実施し、英国の文化や風習、社会問題（Gang Culture）について学習する児童生徒の様子を観察し、研修を行った。その結果、「生徒が意欲的に授業に参加していて感心した」「英国の文化を知ることができてよかった」「英国の社会問題を知ることによって、目標や夢を持つことの大切さに気付いていた」など、とても参考になったが78.6%、参考になったが21.4%と本研修に対して全教員が肯定的な評価であった。

現地校交流においては、昨年度は、小1、小2、小4、小5、小6、中1、中2、中3で実施することができた。また、中学部全体の取組として、欧州日本人学校とのZOOM交流も実現することができ、日本と英国のよさを改めて実感したのみならず、世界各国の文化や風習を知るきっかけとなった。児童生徒の感想からも、「他の国の子と交流することができて嬉しかった。」や「英語をもっと学んで使うことができるようになれば、より世界が広がるということに気付いた。」という意見があった。児童生徒アンケートで、「私は、英語・英会話の授業を通して英国の社会・文化・歴史やPSHE等の理解を深めることができた。」項目において、肯定的評価が一昨年度の90.3%から昨年度93.9%となり、2.7%改善した。

② ICTという視点から

昨年は、以下の研修を行った。

(ア) 学期はじめの情報モラル指導

- ・ 各学期のはじめに、iPadの使用方法についてのルール指導を行い、情報モラルを高めさせた。

(イ) ICTについて学ぼう WEEK

- ・ 文部科学省情報モラルカリキュラム表をもとに、情報モラルを題材にした道徳の授業を行い、児童生徒の感想を学級通信で発信した。

- ・ 日曜参観において、NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社の篠原嘉一様による zoom 講演会を実施し、児童生徒及び保護者とともに最新の情報モラルについて学んだ。保護者アンケートで、「我が子は、グーグルクラスルームを含めた、パソコンやタブレットを使った学習をすることで、ICT 活用能力が向上したと感じる」項目において、肯定的評価が一昨年度の 62.6%から昨年度 67.5%となり、4.9%の改善が見られた。

2 研修体制

令和6年度は、以下の手順で研修を行う。

PSHE 研修

- ① 英会話（外国語 B）の授業 9月9日（月）～13日（金）
 - ・ 『英国について学ぼう WEEK』 を設定し、PSHE に関わることや英国の教育、文化、風習、社会問題などについて学ばせる。
 - ・ 特別時間割を組み、教員も参観できるようにする。
 - ・ 授業後、児童生徒及び教員の感想をまとめる。
 - ・ 研修担当が感想のまとめを職員研修で報告し、成果と課題を共有する。
- ② PSHE 授業 10月23日（月）～27日（金）
 - ・ PSHE と関わる教科、学級活動、道徳などの授業を学年で1つ行う。
 - ・ 職員研修で指導案を検討し、2学期に設定した「PSHE」WEEK の期間に実施する。
 - ・ 各学年が感想のまとめを職員研修で報告し、成果と課題を共有する。
- ③ 現地校交流
 - ・ 現地校ではどのような授業が行われているのか、現地の子どもの様子はどのようなものかなど様々な視点をもって現地校交流を行い、記録する。
 - ・ 当日の記録をもとに現地校訪問レポートを作成する。
 - ・ 職員研修で、各学年のレポート発表を行い、成果と課題を共有する。
- ④ 情報モラル（道徳）学習
 - ・ 外部講師による講話の前後で、情報モラルに関する内容の道徳授業を各担任が行い、情報モラルへ意識を高めさせ、知識を定着させる。
- ⑤ 学期はじめの情報モラル指導
 - ・ 各学期のはじめに、iPad の使用方法についてのルール指導を行い、情報モラルを高めさせる。
- ⑥ 外部講師による情報モラル講話
 - ・ 研修担当が zoom で行われる外部講師による情報モラルに関する講話を録画し、全職員、保護者に共有する。小3以上の児童生徒には、オンラインで講話を聞く。小1、2の児童は担任から、情報モラルに関する講話を聞く。

3 年間研修日程

月 日	主 な 内 容
4月 3日（水）	第1回分掌部会（5・6月） ・ 企画会案件の確認 ・ 学力テスト（NR T）実施準備
4月10日（水）	職員研修 ・ iPad、Google Classroom の使用について（堀内 攝待） ・ 学力テスト（NR T）実施について
4月24日（水）	新任者研修 ・ LGBTQ 研修（講師・堀内）
5月15日（水）	第2回分掌部会（7月） 企画会案件の確認
6月 5日（水）	第3回分掌部会（8・9月） 企画会案件の確認

7月10日(水)	第4回分掌部会(10月) ・企画会案件の確認 ・「学力検査結果分析」提案
7月18日(木)	「PSHE学習」略案 提出期限
7月22日(月)	職員研修 「教材研究研修(PSHE授業研究)」(堀内)
8月22日(木)	職員研修 情報モラル研修(企業)、iPadの使用について(攝待)
8月28日(水)	第5回分掌部会(11月) 企画会案件の確認
9月9日(月)～ 9月13日(金)	英国について学ぼう WEEK
10月9日(水)	第6回分掌部会(12月) 企画会案件の確認
10月21日(月)～ 10月27日(日)	PSHE WEEK 「PSHE学習」授業実践(各学年) 情報モラル講話(企業)(小3～中3)
11月13日(水)	第7回分掌部会(1月) 企画会案件の確認
12月4日(水)	第8回分掌部会(2月) 企画会案件の確認
12月13日(金)	「現地校交流報告」レポート 提出期限 第9回分掌部会(学校評価)今年度の成果と課題を検討
12月17日(火)	職員研修「現地校交流レポート発表①」現地校訪問レポート報告(1～5年)
12月19日(木)	第10回分掌部会(学校評価)今年度の成果と課題を検討
1月6日(金)	職員研修 iPadの使用について(中村祥)
1月10日(水)	第11回分掌部会(3月) 企画会案件の確認
1月12日(金)	研究部研修アンケート 回答期限
1月24日(金)	職員研修「現地校交流レポート発表②」「来年度の研修について」 ・現地校訪問レポート報告(6年、中学部) ・今年度の研修の成果と課題、来年度の研修について(堀内)
2月5日(水)	第12回分掌部会(4月) ・企画会案件の確認 ・次年度教育基本計画作成 ・次年度Google Classroom、共有ドライブ等情報関連整備
2月13日(木)	第13回分掌部会(教育基本計画) ・次年度教育基本計画作成 ・次年度Google Classroom、共有ドライブ情報関連の整備
2月24日(月)	分掌部会(教育基本計画) 同上
3月4日(水)	分掌部会(教育基本計画) 同上
3月10日(水)	分掌部会(教育基本計画) 同上